

「公」のため、郷土のため、子どもたちの未来のためにと、働き盛りの全てを懸けて活動した8年間。小さい紙面で、さらには文字だけになり恐縮ですが、二期目4年間に渡る一般質問の内容と結果を総括して報告します。

稲成起風



『世代循環の街・稲城』実現へ！声を力に、想いを形に。

おじいちゃん、おばあちゃん。育ててくれてありがとう。私、稲城で暮らしたい！そう言わしめる30年50年先を見据えて。



世代循環とは、文字通り「子や孫が、またこの街・稲城を人生の舞台に選んでくれる」こと。
先ずは、今を生きる私たち自身が、稲城の街をより深く理解し、心から愛することがスタートライン。
一点突破型で「〇×やります」ではなく、便利さ、良好な住宅・子育て・教育の環境、誰もが安心安全に暮らせる防災・防犯体制、そして骨を埋める価値がある伝統・文化が溢れる街であること等、バランスの良い維持・発展が必要不可欠です。
子や孫たちに愛郷心が育まれ、大人になった時「お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん。育ててくれてありがとう。私、稲城で暮らしたい！」と言わしめる30年50年先を見据えて。

「世代循環型の街」って何？



どんな事に取り組んだの？
私自身が体験し学んだ事は勿論、皆様からいただいた多彩なご提案や、お困り事の解決等を通じて、稲城市が抱える様々な課題に取り組んで参りました。その一端を次の段からご紹介させていただきます。

前に進む、提案型の政治を！
元々、民間企業勤務であった私
が、突如飛び込んだ政治の世界。職員を恫喝したり、コンプライアンス違反をする方にはご退場願いたいですが、一生懸命努力している人を批判のために批判する、あの手この手で引きずり落とす。そうした、ネガティブな政治は望んでいません。
行政執行が正当に行われていることを確認すると同時に、生産性・効率性の面で評価を行い、代替・改善策を必ず提案、それが新たな議論を生み、結果、市民の最大幸福に繋がるといふ「正のスパイラル」の実現が議会の役割だと考えています。
そして、そうしたポジティブな議会に変えていくために、圧倒的な行動力を備えて実践し、ただの御用聞きではなく、現場の実情を掴んでいくというアドバンテージを得て質疑する等、口先だけでなく背中で見せるべく日々行動しています。
こうした各種行動の結果、「出る杭」になれたのか、「打たれ」ている面もありますが、引き続き働き盛りの全身全霊を懸けて、提案型の政治を貫いて参ります！

平成27年第二回定例会～平成31年第一回定例会の主な一般質問

- ◆【防災・防犯】 全議員中唯一、2期8年全32議会で防災に取り組まれました。
◆市内防犯カメラ台数充実、防犯カメラ標識の設置を要望、自治会による設置補助が創設される。
◆市内への大型交番誘致、既存交番の常駐体制を要望。継続して警視庁へ要望すること、既存交番の機能強化を求めることを確認。
◆在住以外の在勤在学者も可とした結果、学生消防団員等が誕生。
◆首都直下型地震の際、東京都心への緊急消防援助隊の派遣より稲城市第一で活動することを再確認。
◆長峰スポーツフィールド併設防災倉庫への備蓄食糧・資機材充実、稲城市が無事な場合の他市への支援後、早急に備蓄状況を回復させるよう、予備費の使用を確認。
◆多摩直下型地震の懸念がある立川断層の調査結果は、稲城市含む多摩川右岸地域は現時点で確認出来ず。
◆豪雨時水害(道路冠水等)時、押立、矢野口、百村、平尾の各所について、浚渫や土嚢の設置は勿論、根本的な公共下水道雨水排水の効果的対策を約束。応急的に三沢川バイパスが整備され、その後冠水事案無し。
◆上平尾消防出張所と麻生区消防署等近隣との消防応援体制、同出張所の運用体制と各種備蓄充実、ガソリン1万リットル、軽油5千リットルの安全な保管、自家発電、太陽光発電を確認。
◆災害時要援護者市民相互ネットワークの範囲拡大を推進。管理自治会が4から11自治会に増加した。
◆市内保育所の災害時応急保育について最大3日の保育延長が可能であり、長期に及ぶ場合には災害対策本部からの支援、在園児以外の児童も指定避難所として受け入れが可能と確認。
◆誰がどの避難所を利用して良いかと、市内外の企業等の協力体制(入浴施設含む)を推進。避難の長期化に対応したランドリー店等との提携を追加提案、市内の同業種と協力体制が成立。
◆大規模災害等での災害医療(トリアージ)について市民周知を高める。
◆消防支援ボランティア(アマチュア無線、ヘリ操縦士、電気工事士、車両系建設技能等)と総合建設業協会、各企業からの支援調整を要請。
◆防災情報収集にもSNSの利用を提案、防災フェイスブックの活用開始。
◆聴覚・言語障害を持たれる方々に対応する「NET119」の導入を提案、早期導入に向け平成31年度分予算化。
◆稲城市消防本部と東京消防庁の間に、専門職員(消防士・救急救命士)のスキル、新技術等のタイムラグ、病院選定等の差異がないことを確認。
◆災害「受援」体制強化の必要性、相互応援協定、市業務の継続と取捨選択、電源等の振り分けを併せて確認。
◆「稲城市の災害史」について、内容を広く周知し、災害教訓を普及することを提案。市HPでの公開を検討中。
◆入れ替え時期が近づいた備蓄食糧について、市内各所での炊き出し訓練や各学校での防災キャンプ等で有効活用するよう引き続き推進。(裏面に続く)



【教育・文化】

子育て中の一人の親、若手の郷土史家として、教育文化に対して熱い想いがあります。
◆ 中学部活動の教師負担軽減と多様な部活動が可能となるよう、「中学校部活動指導員設置要項」を活用した充実体制整備、部員数が足りない場合には市内複数校での合同チーム創設の検討を提案、部活動指導員も引率可能との回答を得る。
◆ 中学校間に学力差がないよう、全体を俯瞰した教育委員会による全体的な指導を確保。また、犯罪に巻き込まれない情報リテラシーと、炎上事件を起こす側にならない教育の実施を要請。



◆ 郷土文化の保存と活用、学芸員・文化財協力員の充実、古民家の利用拡大（民間団体に貸し切り実現）で紙芝居等の読み聞かせが行われるようになった。

◆ 文化財関連図書、資料のデジタル化を提唱。図書館所蔵物等がDVD化された。

◆ 質疑（けいぎ）塾創始者・窪全亮について取り上げ、自分自身も紙芝居・絵本「いなぎ」発刊責任者として活動。多くの有志・市民のご助力を得て、同塾関連が市文化財に。

◆ 「稲城」誕生130周年の節目にあたり、稲城の歴史文化の保存、ふれんど平尾の郷土資料室、第六小学校の屋形船の活用を提案。

◆ 保育園待機児童問題について、入園可否の文言、他の案内について改善を要望。

◆ 本年秋の幼保無償化について、市内幼稚園・保育所との話し合い強化を要請。

◆ 建設環境委員会連続4期所属、最年少の同委員として、先々を見据え、インフラ整備を推進！

◆ 長峰地区の企業進出を受けて、都市計画マスタープラン改定を提案。幹線道路網の整備、各土地地区画整理事業地区等、都市づくりの過渡期・実施段階であり、上位計画である稲城市長期総合計画や東京都の区域

マスなどの改定作業に伴い、次期稲城市都市計画マスタープラン改定を検討中。長峰地区のその後の状況については、住民との調和、地域コミュニティスペース設置含め実質的な行動が必要であると訴え、地域住民の皆様の温かい心情によって良い方向に向かっていく現状を確認。

◆ バス交通路線のハブ&スポークス型化、新百合ヶ丘・若葉台間の民間バス路線の新設、一部交通不便地域へのワゴンバス等導入を提唱。路線網は街の変遷に併せて変更、ワゴンバスは市内福祉施設やタクシー業者の協力を得て、実証実験をすることに。

◆ 交通事故・渋滞解消のため信号機の改善・設置を要望（福祉センター前交差点信号機・ひらお苑信号機のタイミング改善、平尾自治会館前への信号機新設）

◆ 倒壊危険のある建物・ブロック塀の改善について、大阪北部地震の教訓もあり、公共施設のブロック塀撤去開始。民間ブロック塀の撤去も補助が出るよう変更された。

◆ 渋滞緩和に向けて、道路交通網について近隣市（川崎市・町田市等）を巻き込んでの広域的、面的な整備の推進を要望。

◆ 面的整備の要である、市内の各土地地区画整理事業について、早期かつ安全（事故は勿論、組合が破綻しないよう）に事業が進むよう要請。

◆ 昨年に2度も入札不調となった多3・4・17号坂浜平尾線の東京都施工区間（若葉台接続部）についても、先般2月に無事入札があり、早期開通が望まれるが、先行オープン予定の商業施設周辺については、第二中学校生徒の安全を最大限確保するよう対策強化を要望。

◆ 市内でも道路の陥没による事故が発生していることを確認。住民・市民の目を



借りて情報収集するように提案し、本年3月よりSNSで通報が開始された。

◆ 空き家特措法の対象家屋は固定資産税特例からの除外を視野に、所有者へ除去・適正管理を促すべきと強化策を提案。

◆ 多摩川・三沢川・大丸用水他、市内の各水路について早期の改修整備を要望。

◆ 世代循環の要である平尾団地再生について、管理組合だけでなく、JKK（都住宅供給公社）にも今後の方針を確認すべきと質疑。平尾団地商店街の活性化も同時に提案し、同じく更に改善へと動く。

◆ 枯木や病木、除去がやむを得ない街路樹等の伐採を推進。樹種の変更を視野に検討実施を進めるとの回答を得る。

◆ 市立病院救急外来について、初見でも分かる案内方法を提示、即時に緊急改善。

◆ 予防医療・健康増進に続き、転倒骨折予防体操の推進。2025年問題に対応すべく確りとした取り組みを推進し、同時に音楽を取り入れた介護予防も提案。

◆ 免許返納を迷っている方々を後押しする施策（iバス利用優遇等）を提案、現状は市独自では検討出来ないとの回答。

◆ 聴覚障害者向けの窓口対応強化を要望し、手話通訳士を臨時職員として採用。

◆ 介護士・保育士等の確保・定着のために、処遇改善含めて市からの表彰制度創設を提案↓実施に向けて関係者と検討。

◆ 農商工業・観光・スポーツ・自治会、他市民活動や商工業・農業の活性化、観光協会の設立、レンタル自転車導入、東京五輪への取り組み、広報・公民館活用、清掃環境美化、窓口業務改善…他多数。本紙掲載分含め、下段のアドレスorQRコードから全詳細をご覧いただけます！

◆ 稲城市国民健康保険運営協議会会長として、健康長寿のまちづくりを推進しました。

「隠し事をしない」「政局や党利党略に寄らない」「口先、批判だけでなく、自ら実践して提言をしていく」という約束をさせていた。早くも8年。政策や考え、さらに2期目以降は実績（可否両方）や日々の活動内容は勿論、これまでの半生・性格・行動論等々の全てを伝えずには「本場の市民の代理・代弁者」には成れません。世界混迷、国難の時世。噂や他者の推薦、組織等の方針に拠らず、ひとりひとりの市民が、自らの意志に立脚した主体的判断を求められています。稲城への熱い想い、お伝え下さい！

「隠し事をしない」「政局や党利党略に寄らない」「口先、批判だけでなく、自ら実践して提言をしていく」という約束をさせていた。早くも8年。政策や考え、さらに2期目以降は実績（可否両方）や日々の活動内容は勿論、これまでの半生・性格・行動論等々の全てを伝えずには「本場の市民の代理・代弁者」には成れません。世界混迷、国難の時世。噂や他者の推薦、組織等の方針に拠らず、ひとりひとりの市民が、自らの意志に立脚した主体的判断を求められています。稲城への熱い想い、お伝え下さい！

街頭での挨拶活動等ではなく、現場で共に汗を流し、身命を賭す。

市内幼稚園～法政大経済学部卒【主な経歴、資格等】 ※平成31年3月現在
(株)リクルート(現RCO)正社員
2011年、稲城市議会議員初当選
昭和57年5月生まれ、36歳。
妻・子(3人)、親世帯、愛犬1匹との大家族暮らし実践中。



- 稲城市市議会議員(2期・現職最年少)
稲城市建設環境委員会 委員長
稲城市国民健康保険運営協議会 会長
稲城市消防団第六分団 副分団長
稲城市青年会議所 第41代理事長
わんぱく相撲稲城場所 行司(審判員)
かえっこバザール in 稲城市民祭 オブゾウ
稲城市バドミントン連盟 男子代表選手
稲城まちなか交友協会 理事
稲城楽しく第九を歌う合唱団 副実行委員長
共生型こども食堂クッチイいなぎ 理事
自転車のまち、稲城 共同代表
東京都三市収益事業組合協議会 議員
東京都南多摩地区国保連協会長 会長
多摩川衛生組合協議会 議員
多摩市町村国保連協協議会連絡会 会長
平尾地区自治会協議会 役員
平尾宅地分譲住宅自治会 事務局長
杉山神社奉賛会 理事
林英臣政経塾 塾士(関東九期・広報官)
草莽全国地方議員の会 副会長 兼 事務局長
日本青年会議所 領土・領海委員会 委員
日本防災士機構認定 防災士
日本赤十字 救急法救急員
関東総合通信局 陸上特殊無線技士、他

《2期8年間の活動報告》

仕事には『定量と定性』が必須と考えます。公務(議会・委員会・視察・研修等)、議員活動(市民相談、会派視察、各種式典等)、地域活動(自治会、消防団、青年会議所、神社奉賛会、他)、平成23年5月～平成31年2月末まで94ヶ月2861日中2616日を活動。公式HPブログにて毎月必ず1～4回程度、詳細な活動報告を発信。SNS、メール、本活動報告紙分を除いた『活動日誌』、『陳情・議案等の理由』等だけで総量540000文字超(400字詰原稿用紙1350枚、小説4～5冊分程度。約8年間、欠かさずお届けして参りました！公人に最低限必須である「透明性の担保」。何月何日何処で何をしたか、公私問わず全て公開中！

稲城の誠 検索 www.inagi.info